

介護は自分の生活態度が現れる仕事。 笑顔を忘れず臨機応変に利用者さんに 寄り添いたい。

社会と関わりたくて、セカンドライフに介護の道を選んだ土屋さん。
マニュアル通りではなく、経験こそ大切と充実した日々を送っています。

●平成20年度55歳以上の方のための就職支援講習「ケアスタッフ」コース修了生
介護福祉士 土屋 敏子さん

**こちらに就職するまで
どんなお仕事をしていましたか。**

**また、東京しごとセンターの就職支援
講習をどのように知りましたか。**

一般事務の仕事をしていましたが、55歳の時の引越を機会にやめました。東京しごとセンターの就職支援講習は、知人から教えていただき、ハローワークで見つけました。

**講習を受けようと思った
理由は何でしたか。**

社会に関わりたかったことが大きな理由です。資格を持ったほうが強いかなとも思いました。

講習を受けた感想はいかがでしたか。

いい先生に当たったと思います。例えば、靴下を干すのも、爪先を挟んで干すのか、履き口を挟むのかは、利用者さんによって違うとか、そうした実際のお話が印象に残りました。

講習は身に付きましたか。

付きましたけれど、人間の体は一人一人違いますから、マニュアル通りには行きません。経験をどんどん積むことが必要だと感じました。



1日何軒くらい担当していますか。

2, 3軒です。一週間で

**ゆいま〜るさんに決めた理由を
教えてください。**

お給料がよかったこと、主婦は仕事があるいろいろありますから、仕事の範囲が自宅から近いことも理由のひとつでした。お休みも取りやすいんですよ(笑)。

具体的な仕事内容を教えてください。

利用者さんの通院や買い物の付き添いで車椅子を押したり、お掃除、料理、入浴介助といった生活全般のサポートです。

**介護福祉士の資格も
お取りになりましたね。**

私は働ける日が週に3日くらいだったので資格取得には実働で3年以上かかりました。その間、ゆいま〜るさんが勉強会を開いてくれるなど、働きながらスキルアップのサポートをしていただいたおかげで取得することができました。

1日の仕事の流れを教えてください。

今日は、朝、高次脳機能障害の利用者さんのご自宅まで自転車で行き、自転車は置いて利用者さんと駅まで行ってバスに乗って専門の施設にお送りしてきました。お送りから帰って、2軒のお宅で生活援助をしてきました。このあと、高次脳機能障害の方をおうちまでお連れする仕事があります。

私のセカンドキャリアのつくり方



9軒か10軒くらいです。

**介護福祉士になってよかったと
思いますか。**

例えば、道で脚が悪い方を見かけた場合、以前はどういうふうに声をかけたらいいか分からなかったんです。眼の悪い方が電車から降りるとき、こっちですよ、足元があいてますよとか言えなかったんですけど、勉強してから声をかけられるようになりました。

**今の仕事でやりがいや充実感を感じる
のはどんな時ですか。**

利用者さんとコミュニケーションがうまくできて、笑顔で「その元気をもらったわ」って言っていただけるとすごく嬉しいです。自分が笑顔だと利用者さんも笑顔になっていただけます。やっぱり笑顔だと思います。

将来はどのように考えていますか。

体がもつ限り続けたいです。介護されるより、するほうでいられるよう、健康には気を付けたいと思います。

**これから介護を目指す方にメッセージ
をお願いします。**

大切なことは自己研鑽だと思います。自分の生活態度が全部出る仕事だと思います。私は、心の勉強に本を読んだり、終末期の方など、生きる気力のない方をどうやって元気付けられるだろうとか考えています。朝起きて、よかったなあと思っていたらできるような努めています。

介護の仕事は、どなたでもできますか。
できます。ただ、自分のやり方を押しつけてはいけません。

シニアの力が役に立っています!

優しくて、真面目なシニアに 私たちは大きな期待を寄せています。

介護は、人の質がそのままサービスの質になります。シニアならではの豊かな経験は、介護の現場で、きっとさらに輝きます。悔いのないセカンドステージにチャレンジしてください。

■株式会社 トータルケアサービス加島 ゆいま〜る
代表取締役社長 渋谷 洋子さん



事業内容を教えてください。

訪問介護、通所介護、居宅介護支援、福祉用具の販売とレンタル等の介護サービスを提供しています。また、介護保険サービスではむずかしい長時間のサービスや泊まり込みサービスは別法人の看護婦家政婦紹介所で行っています。

**従業員数、年齢構成も
願っています。**

事業所が7カ所、社員とパートさんで130名弱、ヘルパーさんが180名くらい、うち事務職員が8名です。事務職員にも介護の資格を持っている者がいます。平均年齢は53.5歳くらいです。定年は65歳ですけど、70歳まで延長しています。70歳を過ぎても健康であれば続けていただいています。最高齢の方は80歳を超えています。

**ヘルパーさんの雇用形態はどのよう
なっていますか。**

1年ごとの契約です。

**東京しごとセンターからの
採用者の印象はいかがですか。**



**シニアのいいところ
を教えてください。**

介護の仕事は、ある程度世代が近いほうがお話しなど受け入れやすいと思います。70代の方には60代の方が生活援助するというように、高齢の方のほうは向いているのではないのでしょうか。例えば、昔は近くの日光街道に都電が

シニアの方たちがセカンドステージに介護の仕事を選んで受講していますので、仕事に対するコミュニケーションは取りやすいと思います。やる気もあるように見受けられます。

土屋さんを選んだ理由はなんですか。

以前、実習制度があった時に来られて、登録していただきました。仕事の飲み込みも早く、すぐに現場に適應できた方です。頑張ってるなあと思って見ていたら、東京しごとセンターから応募の方なんですと言われて、ああ、そうなんだと(笑)。

土屋さんはどのような存在ですか。

できれば常勤で働いていただきたいと思っています。とても真面目なお仕事で、クレームもほとんどありません。利用者さんの通院サービスでも、ご指名があるほど頑張っています。

**土屋さんにこれから期待するものがあり
ますか。**

健康に気を付けて長く続けていただきたいと願っています。

株式会社
トータルケアサービス加島
ゆいま〜る
〒120-0036
東京都足立区千住仲町 16-4



走っていましたが、若いスタッフは知りません。その時代を生きてきた人たちなら分かりますよね。利用者の方たちとの共通の話題にもなります。そうした意味からも、住み慣れた地元の街で積んできたシニアの経験が介護の現場でも生かされるのではないのでしょうか。

**介護の仕事はどんな人が
向いていると思いますか。**

介護の仕事は、人対人のサービスです。人の質がサービスの質になるんです。そういう意味では、優しくて親切という心根が大切かなと思います。人と接するのが好きという確固たる気持ちがあるといいと思います。ここが、ほかの仕事とは違うところでしょうか。

**シニアを雇用したいと願っている
事業主へのアドバイスはありますか。**

シニアの方は、仕事に取り組み姿勢はとても真面目だと思います。経験をお持ちの方なので、慣れていただければ長く続けられる仕事です。60代から始めたとしても、健康であれば10年は頑張れると思います。

**東京しごとセンターへの
要望・希望はありますか。**

養成研修をもっとやっていただいて、いい人をどんどん送り込んでいただきたいと思っています。

初心者でも充分、対応できますか。

ペーパーでの勉強より現場で学ぶことはたくさんあります。自信がない方にはサービス提供責任者が同行して、きちんと指導させていただきますので、ぜひ安心して応募してください。